暮らしの瓦版

2012年1月号

太陽光発電を自宅に導入する（4）

【太陽光発電システム導入のステップ：着工から発電開始まで：**】**

最後のステップは、着工から発電開始までです。工事自体は数日～1週間程度で終わりますが、工事を始める前と終わった後に注意すべきことがあります。最後に注意点をまとめます。

【7】補助金の交付決定：国（経済産業省）からの補助金を受けるためには、申請受理（交付決定）通知の日より後に着工しなければなりません。これより前に工事を始めたことがわかると、後から補助金の交付が取り消されてしまいます。通常、補助金の申請から交付の決定までには2週間前後の日数がかかるため、施工する工務店と、このタイムラグを見込んだスケジュールを立てておくことが大切になります。

【8】設置工事・完成検査：無事に補助金の交付決定通知が来たら、設置工事開始です。導入するシステムの構成内容により工事期間は異なりますが、一般的には、数日から長くても1週間程度です。工事内容の違いにより、発注者側の準備も異なり、自宅内家具移動が必要だったり、特に何も準備せずにすむこともあります。工事寸前になって慌てないよう、工務店からしっかり事前説明を受けておきましょう。設置工事と配線工事が終わると、販売店／工務店によって完成検査が行われます。導入したシステムが正常に動いているか、一緒にチェックするようにしましょう。そして、取り扱い方をよく聞いておきましょう。意外に知られていないのが、停電時の対応で、電力会社からの給電が止まったとき、どうすればいいか。自動的に運転モードが切り替わるのか、そうでないのか、といった点を確認しておきましょう。

【9】電力会社との連系契約：発電を開始したら、電力会社と連系契約（余剰分の電力を買い取ってもらう契約）を結び「売電」ができるようにしましょう。パネルメーカーから保証書を取り寄せることも忘れずに押さえておきましょう。

これで自宅への太陽光発電システム導入は完了です。次回からは各ステップの詳細とトラブル回避の注意点をみてゆきます。

季節の風物詩「書き初め」

年が明けて初めて毛筆で書や絵をかく行事。通常は1月2日。吉書、試筆、初硯ともいいます。若水（元日朝に始めて汲み神棚に供える水）で墨を摺り、恵方に向かって詩歌を書く習慣があり、書く詩歌は「長生殿裏春秋富、不老門前日月遅」という漢詩がよく用いられました。元々の宮中儀式が、江戸時以降庶民にも広まりました。書いたものは左義長で燃やし、炎が高く上がると字が上達すると言われています。

生活メモ　季節の行事「初日の出をみにいこう」

初日の出とは、元日の日の出のこと。日本では一年に一度の最初の夜明けとしてめでたいとされ、初日の出参りをします。この習慣は、四方拝という天皇の元旦の儀式が始まりで、それが庶民の間に現在の形で広まり、明治以降に盛んになったようです。全国各地には初日の出スポットがあります。水平線を見渡せる海岸や、山の山頂、展望台など。全国の初日の出スポットを幾つかみてみましょう。

【地球岬（北海道室蘭市）：景勝地から絶景の初日の出を楽しむ**】**「新日本観光地百選」「北海道の自然百選」に選ばれた景勝地。展望台からは高さ140Mの断崖絶壁に建つ灯台や、噴火湾対岸の駒ヶ岳や恵山岬までも見渡せます。朝焼けに染まる様子は絵のように美しく、毎年多くの人が訪れます。

【東京タワー（東京都港区）：東京のシンボル！人気スポットから初日の出を楽しむ**】**昭和33年開業で、高さ333Mの総合電波塔。高さ150Mに大展望台、250Mには特別展望台があり、東京湾から昇る雄大な初日の出を堪能できます。特別展望台へは入場制限がありますが、ゆったりと初日の出を拝めます。

【森将軍塚古墳（長野県千曲市）：国指定史跡の古墳からの初日の出**】**善光寺平を見渡す標高500Mの大穴山に築かれた全長100Mの前方後円墳。毎年元旦には、「森将軍塚で初日の出を拝むつどい」が開催され、はるか昔の日の出を思う人でにぎわい、振る舞い酒などの催しも行われます。

【横山展望台（三重県志摩市）：日本有数のリアス式海岸から眺める初日の出**】**英虞湾の美しい海岸線と海を眺めることができる横山展望台。展望台から眺める海から昇る初日の出は素晴らしく、それを見るためにたくさんの人が集まります。

【生石高原（和歌山県海草郡）：冬の大草原から見る大パノラマと初日の出**】**標高870Mの生石ヶ峰山頂付近に広がる広大な草原で、秋はススキで有名。360度の眺望が楽しめ、眼下には市街地や淡路・神戸の灯りと、青空が広がります。初日の出は高原の景色と冬の空に良く映え感動そのもの。

【大平山（山口県防府市）：防府市街を見下ろす山頂からの初日**】**防府市街の東にある標高631Mの山。山頂付近には展望台があり、市街地や瀬戸内海、瀬戸内の島々を一望。元日はロープウェイが早朝から運行。たくさんの人で賑わいます。

【大浜海岸（徳島県海部郡）：日和佐太鼓と初日の出の共演**】**「日本の渚・百選」にも選ばれた景勝地。アカウミガメの産卵地としても知られています。元旦の朝はひわさ冬まつりの一環として、温かい迎春汁の振る舞いや、日和佐太鼓の演奏が行われます。初日の出が浜辺をオレンジ色に照らして美しい。

【有明佐賀空港（佐賀県佐賀市）：新年の空に飛行機が飛び立つ**】**南に有明海、北に佐賀平野と、360度のパノラマビューを楽しめる有明佐賀空港の展望デッキ。元旦は特別に無料開放され、新春初フライトや初日の出を鑑賞できます。

生活メモ　季節の言葉「二〇一二年・辰年」

2012年の干支は辰年です。干支には十二支と呼ばれるものと十干とよばれる「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」の十種類に分け方がありその組み合わせによって名前が決定されています。2012年の辰年の特徴は正義感と信用。伝説の生き物である辰（龍）が十二支の中であたります。伝説の生き物・龍は瑞祥と言われ、古来中国では、権力者の象徴として、扱われました。「辰」は『漢書』律暦志によると「振」（しん：「ふるう」「ととのう」の意味）で、草木の形が整った状態を表しているとされました。後に、覚え易くするために想像上の動物である龍が割り当てられたのです。2012年の場合、十干は「壬」、十二支は「辰」なので、干支は「壬辰」となります。十干は、陰陽五行説に基づいて「木・火・土・金・水」の五行と、「陰・陽」の「兄・弟」に分けられたものです。木は甲・乙、火は丙・丁、土は戊・己、金は庚・辛、水は壬・癸。木は陽である甲が「木の兄」、陰である乙が「木の弟」、火は、陽である丙が「火の兄」…と割り当てられます。十二支にも特徴があるように十干にもそれぞれ特徴があり、2012年の干支にあたる十干は「壬・水の兄」。この十干の特徴は「妊」に通じ、陽気を下に妊む意味などの意味と説いているところや水のように自由に適応していく等のユニークさを持ったものとあらわされていたりします。株式市場では「辰の年」か「巳の年」に天井を付けることが多く、前回の「辰年」は2000年のITバブルの頂点、前々回の1989年のバブル頂点は「巳年」でした。恵方は北北西です。

【辰年生まれの性格】干支の中で唯一の架空の生き物であり神の使いとしてあがめられている辰。辰年生まれの人は活動的で自尊心が高く、ロマンチストで物事にあまりこだわらない、統率力も優れているので、集団のリーダーシップをとることが多いといわれています。同情心が厚く、人のために尽くすという宿命を持ち、富貴栄達の運もありますが、自尊心が強いのが難点と一般的にいわれています。

気になる言葉「鏡開き」

正月に歳神様に供えた鏡餅を雑煮や汁粉にして食べ、一家の円満を願う行事。鏡餅には歳神様が宿るといわれているので、神様とも縁を切らないように、また元々武家の風習が一般化したので刃物で切るのは切腹を連想させるということで、鏡餅は手や木鎚で割ったり砕いたりし、「切る」という言葉をさけ、「開く」という縁起の良い言い方をします。

正月に歳神様は全ての人や物に新しい生命を与えるために現れると伝えられています。つまり、「歳をとる」ということは一年に一度新たに生まれ変わるということ。そしてその歳神様の霊力を移しとる道具が鏡餅であり、その鏡餅を食べることで私たちは歳神様から新しい生命を頂くことが出来るといわれています。

01月　暮らしのカレンダー

睦月、祝月、嘉月、霞染月、端月、初月、建寅月、元月、泰月、太郎月、早緑月、年初月

1日	元日	9日	成人の日	18日	冬土用
2日	初夢／書き初め	11日	鏡開き	20日	大寒
6日	小寒	15日	小正月		
7日	七草／人日	16日	藪入り		

修繕リフォームから新築工事の建物の事
優良土地活用から物件探し等の土地の事
北　本　建　設　株　式　会　社
埼玉県北本市古市場 3-131　TEL：048-591-1234
URL：http://kitaken1970.com　FAX：048-591-0019